

## 重点監視指導の主な実施規模等

### (1) HACCP\*の取組支援

- 食品等事業者に対し、HACCP に沿った衛生管理の導入・定着に向けた、延べ 19,696 件の技術的支援を行いました。
- 全ての食品等事業者が HACCP を導入できるよう、相談会を 60 回開催し、HACCP に関する知識を持つ有識者から事業者に技術的助言を行うとともに、訪問アドバイスを 179 施設に対して行いました。
- HACCP に沿った衛生管理のレベルアップを図るため、シンポジウムを開催し、272 名が参加しました。
- HACCP 管理手法に精通した HACCP 推進者を育成するため、HACCP 推進者育成講習会を開催し製造業等の営業者や従業員 312 名が参加しました。

※ HACCP (ハサップ Hazard Analysis and Critical Control Point) :

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因 (ハザード) を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法

### (2) 食中毒対策

- 弁当等の大量調理施設や、学校・社会福祉施設等の集団給食施設を中心に、延べ 1,467 件の立入検査を実施し、食品の衛生的な取扱い等について監視指導を行いました。
- 食肉の生食等による食中毒を防止するため、飲食店、販売店等に対し、延べ 2,712 件の立入検査を実施し、法律の遵守や十分な加熱調理等について監視指導を行いました。
- 令和 6 年に紅麹を含む健康食品による健康被害が全国で発生したことを受けて、健康食品の製造又は加工を行う事業者に対して、都、特別区、八王子市及び町田市が連携し延べ 100 件の監視指導を行いました。

### (3) 食品表示対策

- 食品表示の適正化を図るため、食品等事業者に対し延べ 183,342 件の監視指導を実施し、783,057 品目の表示検査を行った結果、延べ 4,134 件の不適正表示を発見し、適正な表示に改善させるなど必要な措置を行いました。

### (4) 輸入食品対策

- 輸入食品について、51,062 項目の収去検査を実施し、「基準値を超える農薬を検出したにんじん」等、4 検体 (4 項目) の違反を発見し、輸入者を管轄する自治体へ通報する等、必要な措置を行いました。
- 輸入者に対して延べ 234 件の監視指導を実施し、食品事故発生時の管理体制等を把握するとともに自主管理の取組状況に応じた指導や取扱食品の検査を行いました。